

平成30年度 磐田市魅力産業支援会議 内容及び会議録

1 日 時 平成30年10月2日（火） 13時30分～15時30分

2 場 所 磐田市役所 西庁舎3階 304・305会議室

3 出席者 魅力産業支援会議委員 8名 事務局（商工観光課、産業政策課）10名

4 内 容

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 出席者紹介

(4) 議題「磐田市産業振興計画」

①事業評価の概要

②事業評価の詳細

基本目標1：まちなぎわいと交流を促進します！

基本目標2：ものづくり産業の競争力を確保します！

基本目標3：未来をひらく新たな産業を創出します！

基本目標4：次代を見据えた人材育成・確保を支援します！

(5) その他

(6) 閉会

5 意見等

(1) 「基本目標1：まちなぎわいと交流を促進します！」について

委 員 県知事は、サイクルツーリズムの聖地づくりを推進するため、奨励金等により整備、普及を進めている。事業として検討されたい。

委 員 市内ホテルの客層は、ビジネス80%・スポーツ20%である。サッカー・ラグビーに加えて、新たに卓球（ラリーナ）が加わり、合宿しやすい環境にある。PRにより、合宿の聖地を目指す事業を検討されたい。

委 員 市全体（市・体育協会・企業等）で取り組んでいけば、大きな成果に繋がると思う。

委 員 まちの定義とは？どの辺りで賑わいづくりしようとしているのか？

事務局 市全体を考えている。

委 員 ジュビロードにかつての賑わいを取り戻す事業計画とイメージしていた。

事務局 ジュビロードについては、軽トラ市の開催等の個別の事業が挙げられる。

委 員 目玉となる事業が必要と考える。掛川市に掛川城があるように、見付天神とつつじ公園を再整備（駐車場）してはどうか？集客力が弱いため、将来ビジョンを持ち、一押しの一目標をつくりたい。

- 事務局 見付地区は、商店と住居が混在し環境が変化している。まち中への駐車場の整備は難しいが、北幼稚園跡地に駐車場の整備を進めている。利用状況を分析して、利用方法を見極めていきたい。
- 委員 施設のハード整備、軽トラ市等のソフト整備、これらをネットワーク化して賑わいを創出していく手法も考えられる。スポーツについては、静岡産業大学等において、スポーツに特化した取り組みを推進してほしい。スポーツの聖地の方法はいろいろとある、多様な可能性を考えていきたい。
- 委員 産学官の連携の良いテーマと考える。
- 委員 埋もれている産業資源を集積すれば対策が取れる。ホテル業界とも連携していきたい。
- 委員 市全体（市・体育協会・企業等）で総合的に取り組むことが重要と考える。スポーツの取り組みに農業を加えたアスリートベジタブル等、核となる商品が必要である。隠れたポテンシャルと結び付けて行きたい。
- 委員 商店街は実行部隊として動く。そのために、まちのビジョンを見極めたい。
- 委員 コンサルタントに市内のスポーツ資源の分析を依頼したことがある。ジュビロサッカー、ラグビー、卓球、豊浜サーフィン、竜洋オートキャンプ場、トライアスロン。これらを連携させて行きたい。
- 事務局 スポーツ関連団体とは市内イベント開催等の際には早期の関わりを図っていきたいと考えている。
- 委員 磐田市の晴天率は全国トップクラスであるため、スポーツの取り組みは効果大であると考えている。何かの特化することが成功に繋がる。
- 委員 沢山の資源が磐田にはあるが活用できていない。核となる事業を具体化してほしい。

(2) 「基本目標2：ものづくり産業の競争力を確保します！」について

- 委員 来月の産業振興フェアに向けて準備を進めている。2日間のイベントと考えるのではなく、市のソフトインフラとして位置づけ、活用を図られたい。
- 委員 市内の大手企業が旗を振ってくれている。是非活用していきたい。
- 委員 がんばる企業応援団は、どのような調査をしているのか？
- 事務局 部長課長を中心としてリーマンショック以降、市として何か支援はできないかと考えて訪問している。景況感・雇用状況・その時の状況にあった内容が調査項目となる。
- 委員 景況感はどうか？
- 事務局 厳しいと感じている企業が多く、次世代を見据えた取り組みが必要との声が聞かれる。
- 委員 事業承継はどうか？
- 事務局 忙しさで手が回らないとの声が聞かれる。困ったときでは遅いため、意識の啓発に取り組むたいと考える。
- 委員 売り手市場が続いているが、企業側のコメントは？

- 事務局 新卒、通年採用ともに雇用が難しい状況である。工業高校や理数系の人材がほしい、工業高校を誘致してほしい等の声が聞かれる。
- 委員 大変な売り手市場である。高齢者の雇用面接会を実施したが、参加希望の企業が多くあった。
- 事務局 大手企業のOB（エンジニア等）の再雇用につながるとありがたい。
- 委員 企業訪問でいろいろな声を聞いていると思うが、具体的な策はあるか？
- 事務局 雇用対策をまず第1に考えていきたい。

(3) 「基本目標3：未来をひらく新たな産業を創出します！」について

- 委員 農業用ロボットの開発とは？
- 事務局 自動走行、選果のセンサー、その他でも市内のものづくり産業の技術を活用できればと考える。
- 委員 遠州豊田S I C南は、有力な企業が集積してきた。更なる成長を目指していきたい。農業の取り組みでいくつか成功事例がある。広島県尾道市のレモンは、広島県が県を上げて取り組んできた。現在は51%のシェアがあり、瀬戸田レモンは非常に有名となった。レモン栽培は3年から4年かかるため、この様な場合は市からの収入支援の制度などが必要となる。
- ソースメーカーと連携して、キャベツ取り選手権を開催する交流センターがある。お好み焼きマイスターを目指してお好み焼きを焼いて楽しむ。市全体で組織の枠を超えて、農業だけでなく、いろいろな分野を結び付けて、目標に向かっていきたい。
- 委員 遠州P A南の開発は終わりか？
- 事務局 次世代型農水産業の補助金を3年間延長した。
- 委員 農業はまちづくりに活かせるポテンシャルを持っている。お茶、日照率などもある。
- 事務局 遠州豊田S I C南は、有力な企業を集積するため補助整備してきた。進出企業の更なる成長を期待している。
- 事務局 閉鎖型植物工場で障がい者雇用に取り組んでいる企業も進出している。

(4) 「基本目標4：次代を見据えた人材育成・確保を支援します！」について

- 委員 ハローワークは、各自治体の強みを活かして、全国各自治体と雇用対策協定を結んでいる。連携していろいろな事業に取り組んでいる。磐田市とは障がい者雇用、パート面接、「にこっと」での就労相談等を実施している。非常に好評であるため、拡充を考えたい。
- 委員 産業振興フェアの出展企業数は？
- 委員 約180社である。
- 委員 バスツアーの状況はどうか？
- 事務局 U I J ターン事業の一環として実施している事業である。2日間で4社を訪問し、竜洋のオートキャンプ場に宿泊した。16名の参加があり、インターン

シップが終わる8月末に実施した。

委員 企業と学生の感触はどうか？

事務局 参加した学生の意識は非常に高く、企業からも就職活動のポイントを聞いた。竜洋オートキャンプ場での交流会では、昨年度採用の社会人1年生との交流もでき、企業及び学生の双方から好評価であった。

委員 外国人留学生を迎え入れる学校は市内にあるか？

委員 静岡産業大学では、中国人・ベトナム人など様々な国からの留学生を受け入れている。

委員 将来的には外国人労働力が必要となってくるため、施策に反映してほしい。

事務局 現在の産業振興計画は平成28年度に策定しているが、状況は常に変化している。本年度は、企業のマッチング等を目的として、ベトナム訪問を実施する。

委員 大学生をターゲットにした施策だけでなく、年齢層をさげて、長期的な施策を立案することも必要と考える。

(5) その他

委員長 意見は終始一貫していたと感じる。将来ビジョンを明確にした目玉となる事業(スポーツ合宿の聖地等)の実施。様々な媒体を組み合わせた事業の実施。核となる人材ネットワークの形成。コアとなる特産物づくり。特化した事業の実施。海外学生の受入れ。であった。これらを踏まえて予算編成等を検討されたい。